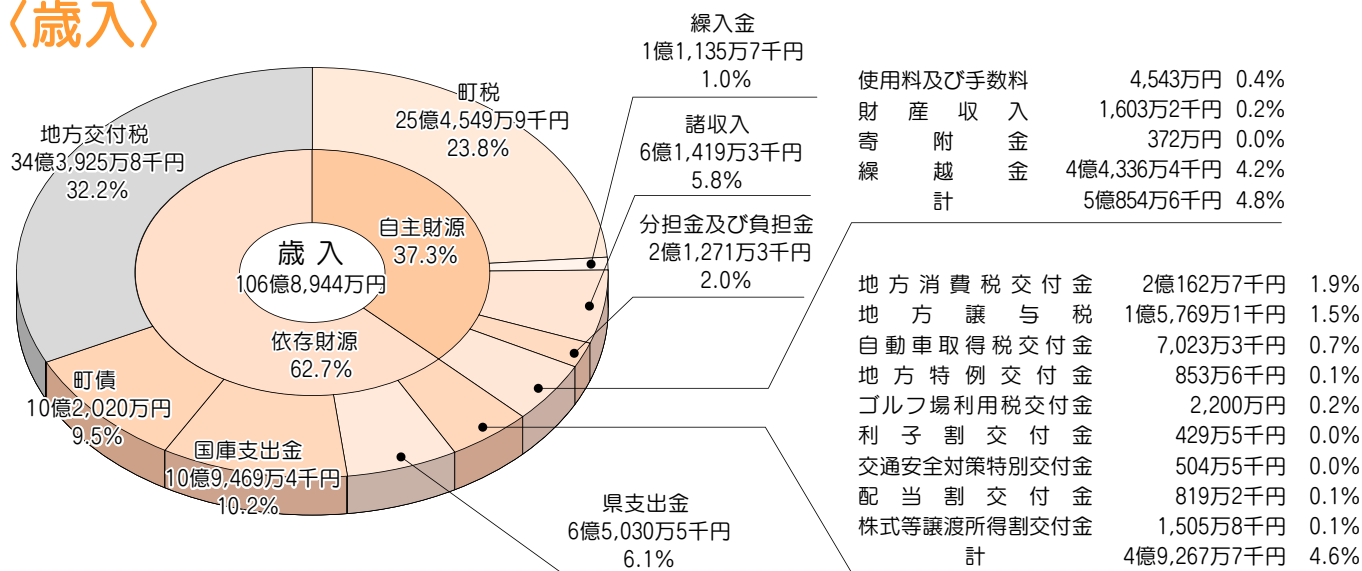


平成25年度決

「決算」とは、1年間に出入りしたお金を集計したもので、みなさんが納めた示すものです。ここでは、平成25年度の状況をお知らせします。

一般会計は、基本的な行政サービスに使われるもので、町のお金の流れの中心となるもの4億9,589万円でした。平成24年度決算と比べてみると、歳入で4億8,600万円、歳出で5億

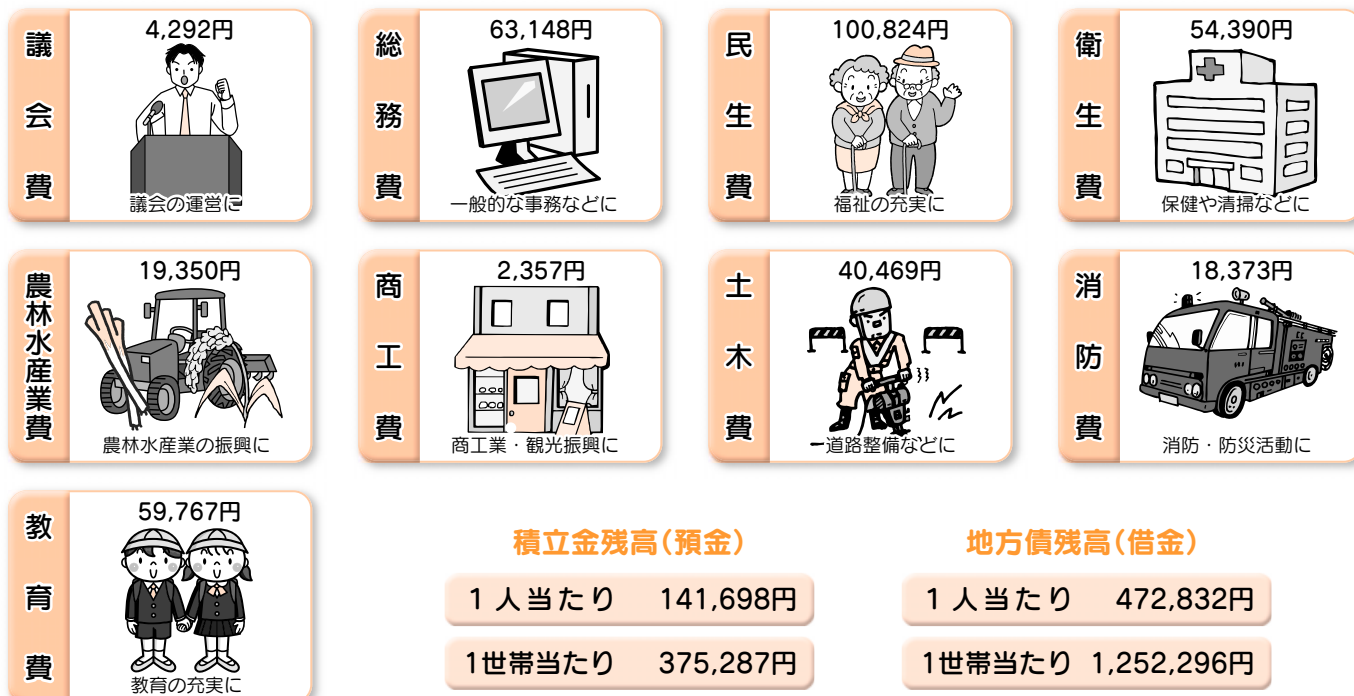
〈歳入〉



歳入では、町県民税、固定資産税及びたばこ税などの町税が増収となったほか、地方交付税が震災復興特別交付税の影響で増額となった一方で、財政調整基金の繰入れを行わなかったことや、大型の合併特例事業が終了したため町債の借入れが減額したことにより、対前年比で減額となっています。

町民1人当たりに使われた額

どのようなことに、どれくらい使われたのか、町民1人当たりで換算してお知らせします。



※積立金残高(預金)は、各種基金の残高合計を平成26年3月31日現在の人口と世帯数で割ったもので、地方債残高(借金)も地方債の現在高合計を同じように計算したものです。
(平成26年3月31日現在 人口：25,219人、世帯：9,522世帯)